

八月十八日に至つて醫療費保險給付を漸く約束した
(三) 鮮人金元成(二七)と田中元吉の兩人は大學病院に診斷を取り
に行くに~~送~~費なき爲、傷~~な~~られた身体で勞動出來ず賃金收得の方法
をなくした爲め、食ふに困り宿るに家なく他人の同情にすがつて
糊口を凌ぎて居るが醫藥代は困つて居る、
(四) 坑内事務所で坑夫を毆打し兩耳の鼓膜を破る坑内役員の感違ひ
から

坑名 山内炭坑

人名 坑夫鮮人(上野仙吉)妻~~事~~行時

日時 昭和七六月十一日

原因 人事係の感違ひから係員二人が撲つて兩耳のコマク~~を~~破
つた事實を達觀する

其の後の經過 事實を隠閉する爲に同人を健康保險の私傷者とし
て醫療と保險給付を施し七月十五日に至つて同上の給付を打切り

たので繼續して今日に及んで居る、
被害者の老父が坑夫組合に通告したと云つて事務所に連行して毆
る！暴力特有。

(四) 事務上の負傷を勞ひ事務所て白刃の下に棍棒で拷問す、

坑名 上三緒炭坑

人名 鮮人坑夫木下~~佑~~萬事洪~~佑~~佐萬(三三才)

經過 坑夫組合に知らせる事を炭坑は知つてか坑夫を暴制に
よつて白状せしめた

作業中穿岩機に~~指~~指を捲込まれて負傷したので尙治療完了せざる
者を早朝~~治~~療打切りをなし勞務係と飯場頭が無暗に入坑作業を強制
せしめたので坑夫は苦肉~~痛~~のあまり組合に訴へた

告訴、事件を飯塚裁判所に告訴中

業務上~~の~~負傷て~~事~~疾となつた坑夫を~~一~~一丈も支給せず
出す